



鉛筆と消しゴム

ノートやコピー用紙に鉛筆で文字や絵が書けるのはなぜか考えたことはありますか。鉛筆の芯の粉が紙に乗っている状態が文字や絵として見えるのはすぐにピンときますが、なぜ紙に乗っているだけの粉が揺すってもひっくり返しても変わらず同じ位置にあるのでしょうか。

答えは紙の構造にあります。表面に塗料が塗られていないコピー用紙やノートなどの紙(非塗工紙といいます)に鉛筆で文字や絵を書くと、鉛筆と紙の間に“摩擦”がおきて黒鉛と粘土から作られた鉛筆の芯が削られることで黒い粉ができます。この粉が紙の繊維に付着する

ことで文字や絵を書くことができるのです。つまり鉛筆の粉は紙に接着しているのでも、繊維に染み込んでいるのでもなく、紙の繊維に絡まっている状態なのです。

一方、その文字を消しゴムで消せるのはなぜなのでしょう。それは消しゴムで黒鉛のついた紙面をこすると、消しゴム本体からゴムが剥がれ落ちます。そのゴムが黒鉛の粉を効率よくくっつける性質を持っているので、紙から黒鉛を絡め取ることで文字が消えます。何気ない日常の紙と鉛筆そして消しゴムにも、多方面の研究成果が活かされているというわけです。



夏から秋にかけての花粉症

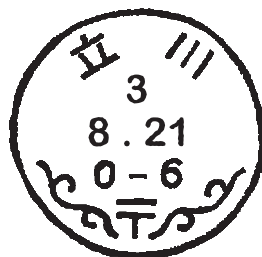
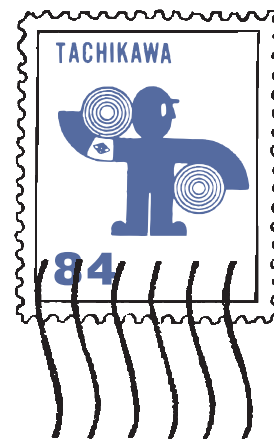


花粉症というと、スギやヒノキなどの花粉による春先(2月下旬～4月上旬)の症状が代表的ですが、夏から秋にかけて花粉症の症状が出て困るという声を近年よく聞くようになりました。この原因は『草本花粉』が原因ということが研究でわかってきました。

スギやヒノキなどの花粉が風に乗って大量かつ長い距離を飛散するのに対し、草本花粉は丈が低く、花粉量も少なく、生息場所の数10メートルの範囲で広がるイネ科やキク科、ブタクサ属などの背が低い雑草の花粉をさします。症状は季節性アレルギー性鼻炎の一種

で、スギやヒノキの花粉症と同じです。

それぞれの花粉の特徴をしっかりと把握して正しい対策でこれらを防ぎたいものです。何とんでもその“植物が生えている場所には近づかない事”が一番です。花粉の症状が出やすい人は、日頃からそれらの植物のある場所を確認しておき、花粉の時期が来たらそこに近づかないこと、どうしても近づかなければならぬ時には、春先と同じようにマスクやメガネ、衣服に付いた花粉を良く払い落とすなどを心掛けましょう。



発行/株式会社 立川紙業 〒190-0022 立川市錦町4-5-26 / TEL: 042-527-6111(代)
FAX: 042-528-0080 / HP: www.kami.jp / MAIL: tp@kami.jp



お札のはなし

橋詰 太一

令和6年度の上半年にお札のデザインが一新されます。お札はだいたい20年ごとに変更されるそうですが、そこに人物が使われている理由をご存知でしょうか。私たちは人の顔は比較的容易に見分けることができるため、印刷がずれていたりぼやけていたりすると違和感を持ち、これが偽札の発見や防止につながるからだそうです。

また、お札の人物には広く知られている文化人や著名人などが選ばれますが、これはその人物の業績などを再認識して親近感を持ってもらう狙いがあるそうです。ちなみに日本のお札の表面に女性が採用されたのは現行の5千円札の樋口一葉が初めてで、令和6年度変更の紙幣も5千円札は津田梅子が描かれています。男女平等の世の中の変化はお札にも現れているようです。

お札の人物でメガネをかけているのはわずかに2名、新渡戸稲造と高橋是清です。お札の人物といえば聖徳太子に代表される髭

のある文化・著名人ですが、髭がない人物は福沢諭吉・二宮尊徳・岩倉具視・樋口一葉だけで、令和6年度変更の紙幣も2名に髭がありません。これは今まで髭が偽札防止に一役買っていたものが、近年の最新の偽札防止技術採用により、髭にこだわらなくなってきたこと、また威厳の象徴というイメージも時代にすぐわなくなっていることによるそうです。

その配置もお札の右側に配置されることが多く、右を見ている肖像画が多いことにお気づきでしょうか。もしこれからお札になりたいと考える方は、まず知名度を上げて人々に認められる大業を果たし、メガネはかけずに右側を写す写真や絵を残しておくことをおすすめします。

お札に採用された方々の「偉業」と「ありがたさ」を再確認し、お金は大事に使いたいものです。

(弊社営業一課員)

タント キラ K-9
四六判 #70
を使用しています。

■ 編集室より ■

昨今の虚礼見直しにならない、弊社でも数年前から書状の暑中見舞いを失礼しておりますが、コロナ禍に加え今年も各地で記録的な暑さや豪雨による災害が伝えられ心を痛める日々です。皆様もどうか普段からの準備や対策には十分にご留意くださいませ。

(K 記)

業界の動き

古紙バイオエタノール事業で 異業種協業の動き

印刷大手の凸版印刷と国内石油元売り会社トップのENEOSは、古紙を原料とするバイオエタノール事業の立ち上げを検討することで合意し協議を開始した。

この事業では再生紙原料としてこれまでリサイクルが難しかった「防水加工紙」や「ノーカーボン紙」も使用する。従来のバイオエタノール製造では、製造工程完了後にすべての生成物を製造窯から取り出し新たな原料を投入していたが、原料を継ぎ足しながらエタノール抽出が可能という、これまでに前例のない製造効率の高い画期的なシステムとなる。

バイオエタノールなどを原料とするバイオ燃料は、CO2排出量が少なく環境にやさしい燃料として注目される一方、その主な原料となるバイオエタノールはサトウキビやコーンなどの穀物であるため、食糧との競合や調達が天候に左右されるといった課題も抱えている。

古紙などからもバイオエタノール製造が可能になれば、CO2削減のほか安定的な原料の確保も期待できる。

この事業では原料として凸版グループの工場や近隣自治体・企業から排出される難再生古紙やシュレッダー紙を使用、将来はセルロース系廃棄物の使用も視野にある。その流れは、凸版印刷が古紙類を前処理、次にENEOSが開発した製造技術でバイオエタノールを製造する。そして、バイオガソリン・バイジェット燃料・バイオケミカルの原料とした製品が仕上がり、副生成物のCO2は分離・回収して有効活用されるというものだ。

この製造技術には、ENEOSが王子HDと共同で実施した新エネルギー・産業技術総合開発機構委託事業の総合開発実証事業の成果が利用されている。

(参照・紙業タイムス)

今月の 使用紙 タント キラ

今月のTP通信は『タント キラ』を使用しています。

キラキラときらびやかに輝く上質で華やかなパール調の片面光沢がチャームポイントです。白を始めパステル調の全10色を用意しました。高級感のある包装紙やパッケージ、ステーションナリー、御祝い事の制作物など幅広い用途にお使いいただけます。

■規格

大きさ	目	厚さ	色数
四六判	Y目	# 70	10色
		# 100	10色

メーカー→お客様 ダイレクトライン

北越コーポレーション株式会社
洋紙・白板紙事業本部

色上質紙・レインボーロール 色名変更のお知らせ

平素は弊社製品に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
弊社色上質紙・レインボーロール【肌】について、その色名を変更させて頂く事となりました。
その内容について下記の通り、ご案内申し上げます。

記

1. 対象品種

「色上質紙 肌」「レインボーロール 肌」

【新色名】

「色上質紙 うすだいたい」「レインボーロール うすだいたい」

※業界コード

色上質紙 うすだいたい

レインボーロール うすだいたい

※色・品質についての変更はございません。

2. 実施時期

2021年9月生産(次回生産)分より

3. その他

当社在庫品については、「色上質紙 肌」「レインボーロール 肌」の在庫が無くなり次第、切り替えていきます。

■立川紙業から残高確認書返送のお願い■

経理部より皆様をお願い申し上げます。

弊社は8月が決算月となっております。つきましてはお取引をいただいているお客様に、7月末または8月20日付の請求書に「売掛金等残高確認のお願い」を同封させていただいております。

お手数ではございますが、金額をご確認いただきお客様の社名を記入・捺印のうえご返送くださいますようお願い申し上げます。なお、目隠しシールを同封させていただいておりますのでご利用くださいませ。